

中国立保健医科学院图书馆



10012025

七歳ヨリ貳拾歳ニ至ル小中學生徒ノ精神發育研究

九州帝國大學教授
文部省學校衛生調查団
同省盲啞及特種教育調査委員

医学博士 榊保三郎

小及中學ニ於ケル生徒精神研究ハ本邦及ビ歐米ニ於テハ頗ル多數ニ研究シアレドモ其研究ハ各研究者皆其ノ人ヲ異ニシ其ノ材料モ亦異ナリタル材料ヲ用ヒ研究調査ノ方法モ亦皆異リ居ルヲ以テ七歳ヨリ貳拾歳ニ至ル如キ小中學齡全般ニ至ル適當ナル研究ヲ發見スル事能ハズ、同年齡中ニアル精神發育狀態ガ斯ノ如ク種々雜多ニシテ統一的ノ調査研究ナキ以上ハ其ノ發育狀態ニ適應スル教育法ヲ設ケル事モ困難ナルガ故ニ現今ノ教育法ハ只一つノ推定的ノ教育法タルヲ免カレズ、余ガ拾數年ヲ費シテ研究シタル第一目的ハ正ニ本邦ノミナラズ世界全般ノ尺度ナキ推定的教育法ヲ打破シ本調査ノ結果タル諸年齡ニ適應スル兒童平均精神狀態ニ好適スル教育方法ヲ作ルニ必要ナル各心理狀態ヲ分明ナラシメントスルニアリ、然レバ余ハ教育學家ニ非ザルヲ以テ其ノ方法ヲ直接ニ案出スル事ハ不可能ナレドモ只同年齡内ニアル心理狀態ヲ報告シ以テ教育家ノ資料ニ供セントス、次ニ小學齡ヨリ丁年迄ノ精神發育ヲ研究スレバ從テ精神ノ發育停止時期モ發見シ得ルヲ以テ成熟年齡即チ本邦ニ於ケル丁年期ヲ測定スルヲ得、其ノ丁年期ガ決定スレバ本邦ニ於ル諸法律、及ビ適當ナル徵兵適齡等ヲモ確定スルヲ

得、之レ第二ノ目的ナリ。

以上ニツノ大目的ヲ以テ明治四十二年ヨリ次ノ方法ヲ以テ實驗調査ニ着手シ大正九年三月二十五日ヲ以テ各方面ノ發育心理的研究ヲ了結セリ、大正九年二月再ビ同年齡ニアル生徒ノ注意及ビ作業能率發育ニ關スル研究中ノ補充トシテ詳^{ひだ}法實驗ニ着手シ大正十年三月廿日ニ至リテ注意及ビ能率發育補充研究ヲモ終了シ茲ニ發表スルニ至レリ。
實驗方法 各心理狀態ニ於ル實驗方法ハ皆其ノ目的ニ依テ異レルガ故ニ、一般ニ此處ニ述べル事ヲ止ムルト雖モ、各其ノ方法ノ概要トシテハ實驗心理學中最モ適當ト認ムル實驗方法ヲ以テ各生徒個人ニ涉リ研究シ大約同年齡ノ生徒ヲ一群トシ其ノ實驗價值ヲ相加ヘ一群ノ人數ヲ以テ除シ以テ其ノ年齡ノ一群ノ平均心理狀態トナセリ。
研究ノ順序及其報告期日ヲ左ニ舉グ。

(第一回報告)一記憶發育研究
(第二回報告)一觀念聯合(聯想)發育研究

明治四十三年十月ヨリ着手。大正三年九月一日完成。同四年九月三日及ビ同十二月二十日及二十一日官報掲載

(第二回報告) 觀念聯合(聯想)發育研究
大正四年二月ヨリ着手。大正七年五月二十四日完成。同八年十一月二十九日同十二月一日及五日、二十日官報掲載。官報局ノ都合ニテ何故力掲載ヲ中止セリ。

(第四回報告) 注意ノ動搖及ビ作業能率發育ノ研究

大正七年六月二十日着手。大正八年五月二十七日完成文部省ニ提出。及日本心理學會雜誌第一卷第三號發表

(第五回報告) 身體發育ト精神發育トノ比較並ニ精神發育總括論

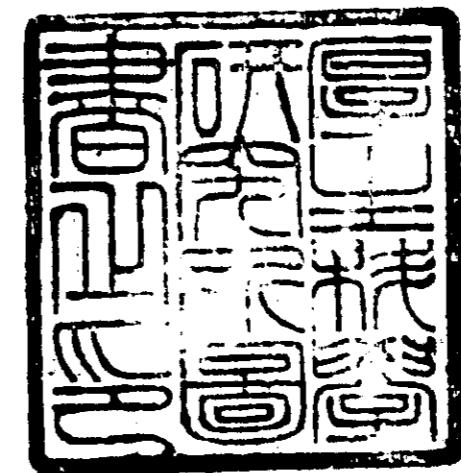
大正八年六月一日ヨリ着手。大正九年三月二十五日完成文部省提出。日本神經學會第十九卷第九號發表

(第六回報告) (注意ノ動搖及作業能率發育ノ研究ニ關スル補充
(クレベリン法ニヨル再調査報告)

大正九年一月十七日着手大正十年三月二十日完成。

以上ノ六報告ヲ全部合シテ印刷公表ス。

大正十年三月三十一日



第一報告 記憶ノ發育ニ就テ

緒 言

(大正三年九月一日調査終了)

學齡兒童、中等學校生徒及ヒ普通學校以上ノ生徒學生ノ精神能力ノ發達ヲ實驗心理學上ノ方法ヲ以テ研究スルノ必要ハモトヨリ言ヲ俟タル所ニシテ此ノ種ノ心理學的研究ハ教育學ノ基本ト爲ルヘキ最モ肝要ノ事項ナンハ歐米ニ於テハ目下盛ニ研究セラレツ、アリ(参考書略ス)本邦ニ於テハ此ノ種ノ研究ハ極メテ必要ニシテ風土ヲ異ニスル歐洲ノ研究ヲ其ノ儘本邦ニ應用スルノ當否ハ別問題トシ直接日本ノ兒童及生徒ヨリ得タル結果ヲ以テ本邦特有ノ教育基本ヲ置之ハ其ノ目的ニ對スル最捷ノ道ト信ス右ノ如キ記憶能力ヲ測定センカ爲メ明治四十二年ニ一部ヲ調查シ同四十三年十月及十一月ノ兩箇月ニ瓦リ福岡市女子師範學校附屬小學校及ヒ同市高等小學校並ヒニ師範學校及女子師範學校ニ於テ七、一ヨリ二十一、二ニ至ル男女總數千〇二十六名ニ就キテ記憶ノ實驗ヲ行ヒタリ

右千〇二十六名中小學校兒童四百九十名(内男生徒二百四十名、女生徒二百五十名)、師範學校生徒五百三十六名(内男生徒二百六十四名、女生徒二百七十二名)ニシテ年級別ヲ以テ示セハ左ノ如シ

第一表

小 學 校

講習一年	講習二年	三學年	二學年	一年	高一 高二 高三 高四 高五 高六	年級	男女		男女總數	男女數
							男	女		
範 學 校										
一五二	二三五	五七五	五八一	一〇五	三三七	三六一〇	三二一	三四二	三〇二	二九六
一八七	一七九	一〇八九	一七七	六六一	九九	四四	三三	二二	九〇	八八
一三五	六二	九二	一二三二	一九一	九〇	六一	四一	二二	三四	二四
一一一	一九一	一九一	一九一	一九一	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇
均男女各年齡平										
一六九〇	六一	四一	二二	三四	一一	二四	一一	三一	一一	三一
一六九〇	六一	四一	二二	三四	一一	二四	一一	三一	一一	三一
均男女總平										
一〇、三	九、六	一〇、九	一四、三五	一三、二五	二、二	二、二	一、一	一、一	一、一	一、一
一九、一	一九、一	一九、一	一九、一	一九、一	一六、三	一六、三	一七、二	一七、二	一七、二	一七、二
一九、一	一九、一	一九、一	一九、一	一九、一	一九、一	一九、一	一九、一	一九、一	一九、一	一九、一
均男女總平										

以上總數千〇二十六名

今回調査ノ目的ハ少クトモ福岡市ニ於ケル兒童カ年齢ノ發育

ト共ニスル記憶ノ發育ニ就キテ其ノ心理的發育ノ經路ヲ研究ヲ

シ進ンテ男女ノ比較、種々ノ感覺ヨリスル記憶ノ比較研究ヲ

爲シ尚學校成績ト記憶トノ關係ヲ計リ又誤記憶ニ際シテ現レ

タル錯誤ノ原因ヲモ調査シタルニアリ

但シ右誤源ニ關スル調査ハ未タ完成セサルヲ以テ次回ニ譲ル

コト、シ尚補助級及特別級ハ人員僅少ナル故男女ノ別ヲ置カ

ス單ニ級ノ平均ヲ舉クルニ止メタリ

實驗方法

今回ノ調査ニ關シテハ通常研究室ニテ爲スカ如キ少數ノ一個人ニツキテ精細ナル實驗ヲ多ク重ヌルニ非シテ寧ロ諸學校ニテ教授ヲ害セサル程度ニ於テ此ノ實驗ヲ爲サント欲シ多少精密ヲ缺クト雖モ所謂一時多數調査ノ方法ヲ採レリ而シテ其方法タル主トシテエッピングハウス氏最初ノ方法 (Methode der behaltenen Giese)ニ依リ次テネッチャイエフ氏ノ用ヒタル「正當記憶數法」ヲ以テシタリ此ノ法ハ前記ノ目的ニハ便利ナルモ記憶スルマテノ時間ト度數(記憶ノ信實)及忘却ヲ檢スル事不可能ナル故ニ今回ノ調査ニ於テモ此ノ二目的ヲ達ヘルコト能ハサリキ即チ單ニ所謂記録ノミヲ實驗セルモノナリ

右方法ニ依リテ本實驗ニ供スル爲メ出題シタル問題ノ種別ハ

(1) 六箇ヨリ成立セル數列

(2) 六箇ヨリ成ル單綴音列

(3) 連續シテ意味ヲ爲サ、ル六箇ノ單語列(各語カ各々二

徒カ口中ニテ充分ニ真似シ得ル程度ニ於テ問題ヲ明ニ二回讀ミ聞カセタル上三十秒後ニ豫メ配布シタル紙片ニ各自ノ記憶シタル所ヲ記入セシメタルナリ

スクノ如キ實驗ニ供スル目的ヲ以テ出シタル問題ノ性質ニツ

キテ尚詳記スヘシ但シ問題ハ成ルヘク同一ノモノヲ選ヒタル

モ學校ノ異ルニ從ヒ自然同義ノ問題ヲ提出シタルニヨリ全體ニ於テ同一ノ問題ヲ出シタリト云フコト能ハス

(一) 排列順ニ關スル及關セサル數列ハ例ヘハ1、4、3、7、

5、8、ト云フカ如キ問題ニテ一人ニ就テ四回提出シタ

レトモ小學校ニ於テハ都合上只二回行ヒタルノミナリ

(二) 排列順ニ關スル及關セサル無意味ノ單綴音列ハ例ヘハ

「ギ、ソ、ア、コ、ツ、ハ」ノ如ク全ク無意味ナル單綴音ヲ

六箇羅列シタルモノヲ四問題宛各生徒ニ實驗シテ其總和ヲ求メタリ

(三) 排列順ニ關セサル有意味ノ單語列ハ例ヘハ「イクサ、

ヒ、カミ、フエ、シバイ、ツクエ」ノ如ク一組乃至四組ヨリ成ル有意味ノ單語六語ヨリ成ル問題トナシ名詞、形容詞、動詞ヲ以テ各例題ヲ作シタル問題四箇ヲ以テ實驗セリ但シ此ノ場合ニ於ケル各語ノ意味ハ相互ニ連續セス全ク無關係ノモノト爲シタリ此ノ方法ハ生徒ノ語

學特ニ國文學ニ於ケル單語記憶ヲ測定スルニ用ヒラル

(四) 排列順ニ關スル有意味ノ單語列ハ例ヘハ「ポン、ヨム、

シケン、リッキン、メイヨ、コウコウ」ノ如ク各有意味ノ語ヨリ成リ然モ各語ノ意味カ相互ニ連續シ其ノ間ニ

ヲ以テ一人ニ對シテ多數ノ精細ナル實驗ヲ行フヨリ等ロ多人

綴音乃至三級音ヨリ成立スル六箇ノ言語ヨリナル問題

列)

(4) 文章ト同シク各語ノ意味カ相連續セル六箇ノ單語列

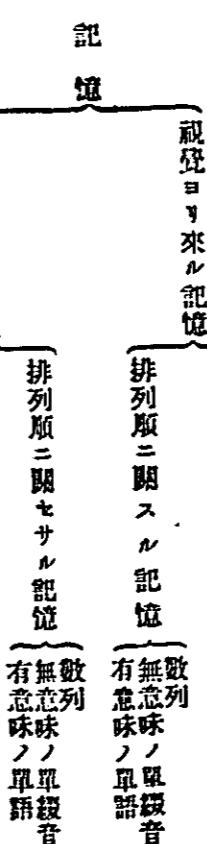
ノ五種トシコレヲ或ハ視覺ヨリ或ハ聽覺ヨリシテ記憶スルニ

際シ數箇ヨリ成立セル問題ノ如キハ其ノ順序ニ從ツテ記憶ス

ル場合及順序ニ從ハスシテ只單ニ六箇ヲ記憶スル場合アルヲ

以テ實驗ニ於テハ特ニ排列順ニ關シテ記憶セシムル場合ト排列順ニ關セスシテ記憶セシムル場合ニ別チテ調査シタリ今コ

レヲ表解セハ左ノ如シ



右ノ如クニシテ視覺ヨリ來ル記憶ヲ實驗スル場合ニ於テハ平常ノ教室内ニテ教師ハ豫メ問題ヲ黒板ニ書キ置キ物ヲ以テコレヲ覆ヒテ生徒ニ示サス而シテ實驗ニ先チテ生徒ニ充分ナル方法ニ關スル説明ヲ與ヘタル後問題ノ覆ヒヲ取り去リ生徒ヲシテ二回小聲ニ問題ヲ讀マシメタル後又再ヒ之ヲ覆ヒコレヨリ三十秒ヲ經テ前以テ各生徒ニ配布シタル紙片ニ其ノ記憶シタル問題ヲ書カシメタリ

又聽覺ヨリ來ル記憶ヲ實驗セル場合ニ於テモ同様ニ教師ハ生

三ノ語ヲ挿入セハ一ノ文章トナルカ如キ所謂省略文章ノ記憶實驗ナリ即チコノ實驗ヲ以テ學校ニ於ケル教授的記憶ノ一端ヲ窺知シ得ヘキ最モ實際ニ近キ記憶調査ノ方法ナリト見做セルモノナリ

以上述ヘタルカ如キ方法及問題ヲ以テ研究シタル記憶能力ノ

測定ニ際シテハ公算ノ原則ニヨリ前述ノ如キ六箇ヨリ成ル問

題ニ對スル被實驗者ノ正答數ノ比ヲ以テ所要ノ記憶能力ト見

做シタルモノニシテ即チ所要ノ記憶能力ハ「〇ナリ」ハ正答

數ニシテヨハ六箇ヨリ成ル與ヘラレタル問題ナルカ故ニ此ノ

場合ニアリテハ6ノ數ナリトスソレ故ニ最高記憶能力ハ「1ニ

シテ最低能力ハ「0ナリ」即チ吾人ノ記憶能力ハ「〇ヨリ1ノ間ニ

存在スルモノナリ

然リ而シテ本實驗ハ小學校ニ於ケル數列ヲ除クノ外ハ各一人

ニ對ン一種類ノ記憶實驗ニツキ六箇ノ問題ヲ與ヘタルヲ以テ全體ニ於テハ一人ニ就キ實ニ四十八回ノ實驗ヲ行ヒタルモノニシテ然モ此ノ實驗ヲ行フ場合ニハ特ニ各生徒カ平常教授サル、教室内ニ於テ平素ノ授業ト全ク同シ狀態ニ於テ午前中通常第一時間目乃至第二時間目ニ行ヒタリ一日只一種ノ實驗ヲコレ教授ヲ妨害セス又兒童ヲシテ徒ニ疲勞セシメサランカ爲メナリシナリ

要スルニ本實驗ニ際シテ精密ナル實驗測定法ニ依ラスシテ一時多數實驗法ニヨリタル所以ノモノハ前述ノ教授ヲ害セサラシカ爲メト及ヒ目的ハ單ニ生徒ノ精神發育ニ關スル研究ナル

ヲ以テ一人ニ對シテ多數ノ精細ナル實驗ヲ行フヨリ等ロ多人

數ニ互リテ廣ク而モ多ク研究スルヲ以テ適當ノ方法ナリト思
惟シタルハナリ故ニ今後述フル所ノ結果ニ於テハ常ニ一級ノ
各平均年齢ト記憶トノ關係ニツキテ測定シタルモノナルヲ以
テ例ヘハ曲線ヲ畫クニ際シテX軸ニ於テ年齢ヲ示シY軸ニ於
テハ記憶能力ヲ表示スルモノトス然モ年齢ヲ示ス場合ニハ何
年何箇月トセシテ便宜上生月ヲ年ノ分數ヲ以テ計算シ記憶
能力ニ於テハ0ヨリ百ニ至ル數ヲ以テ計上シタルコレ又便宜
上ヨリシテ能力測定數ナル0「コンマ」以下ヲ皆百倍シテ其ノ
最高數ヲ百ト見做シタルニ過キサルナリ

結果報告

實驗ノ結果ニツキ各記憶ノ種類ニ對シテ一一ノ結果ヲ述フル
ニ際シ其ノ各項中ニ於テハ(一)男女ノ比較、(二)年齢ニヨル差異
即チ記憶ノ發育、(三)視聽ノ兩官ヨリ來ル記憶ノ比較、(四)生徒
ノ成績ト記憶トノ關係、(五)全體ニ於ケル發育曲線ノ以上五目
ニ亘リテ說述スルコト、セリ

第一項

問題ヲ出スニ當リテ排列順ニ注意ヲ拂ラハシメサル場合ニ於テハ被實驗者ハ其ノ記憶能力ニ對スル條件ノ一カ寬恕サルヲ以テ年少ナル生徒ノ記憶能力ト年長ナル生徒ノ記憶能力ノ差異ハ排列順ニ關スル記憶實驗ノ場合ヨリ遙ニ少ナリ即チ第二表ノ示スカ如ク尋常一年級ノ記憶能力ト師範科ニ於ケ記憶能力トノ差ハ僅カニ二〇乃至三〇ニ過キス又一方曲線

第二表 排列順ニ關セサルモノ數列記憶

平全高 平全高 平全厚 平全厚 平全厚 平全厚 平全厚 平全厚								年級	
二	一	六	五	四	三	二	一		
均	年	均	年	均	年	均	年	均	年
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男
九九九	九九九	九九九	八八八	八八九	八八八	七七六	七七七	覲	
八七八	四一六	五五五	二〇四	九九〇	三四三	二四九	五二七		
〇九一	五三一	二三一	一二七	五二〇	九二三	四四一	一四五	覺	
九九九	九九九	九八九	八八八	九九九	九九八	七七七	五四五	聽	
五三七	五五五	一八五	五六五	一〇一	〇〇八	四五三	二七八		
六二七	二一二	九八一	七〇三	〇六六	一七四	七〇四	九一〇	覺	
四四四	三三三	二二二	一一一	〇九〇	九九九	八八八	七七七	年	
二五〇	二三〇	一一一	二二三	〇九〇	二一三	〇〇〇	一二〇	助	
九〇八	二三八	二七七	九五三	〇二八	五七三	八八八	七五八		

人記憶測定ニハ死ト無意味ナルニト不詮ヘ居レバソニタク但
クモ亦數及語ノ記憶ヲ調査セリバラパンハ無意味ノ機械的ノ
記憶ヨリモ論理的ニ入ル記憶ノ方ニ倍モ強シト云フ
今コノ結果ヲ述フルニ當リ排列順ニ關セサル數列記憶ノ結果
ハ第一項ニ述ヘタルカ如ク實際教育上餘リ大ナル效果ヲ認メ
サルヲ以テ主トシテ排列順ニ關スル數列記憶ノ結果ヲ述ヘン

第三表 排列順ニ關スルモノ數列記憶

平全草 平全尋 平全尋 平全尋 平全尋 年						平全補 平全特 平全四 平全三 平全二 平全一					
五	四	三	二	一	級	助	別				
均	年	均	年	均	年	均	年	均	年	均	年
女男	女男	女男	女男	女男	小	女男	女男	女男	女男	女男	女男
七八七	七七七	六六六	七七七	六六六	視	三三三	八七八	〇〇〇	〇九〇	〇〇〇	九九九
九三四	六六五	九八九	二三〇	三三六	覺	七九三	〇八三	〇〇〇	〇九〇	〇〇〇	八八六
七三九	二九〇	〇九二	六九八	四〇三	部	五八三	一六三	〇〇〇	〇八〇	〇〇〇	〇九一
七七六	六六六	六七五	六七五	三三三	蓮	三四二	七七八	九九九	九九九	九九九	九九〇
三六八	七六九	七〇八	四〇六	七八六	覺	九六六	六二一	八九七	九九九	八九七	九七〇
〇五七	五〇九	三三九	九二六	五五五	部	一六六	九七六	四八一	〇〇〇	一〇二	一五〇
一一一	一	一	九九九	八八八	年	九九九	〇〇〇	九九〇	八八九	七七七	六六六
二二三	〇九〇	二一三	〇〇〇	一二〇	齡	四八〇	三一五	八五一	九七一	一〇一	二二二
九五三	〇二八	五七三	八八八	七五八		二〇〇	〇〇〇	四〇七	五六七	三八七	一五七

爲スコト極メテ僅少ナルモノト認ム
第二項 數列ノ記憶
數ノ記憶ヲ以テ記憶能力ヲ驗シタルハボルトンヲ以テ職矢ト
ス數ノ記憶ハ無意味ニシテ記憶スルコト困難ナルカ故ニ全ク
新シキ刺戟ニ對スル記憶ノ實驗ニハ無意味ナル單綴音ノ記憶
實驗ト相竝ヒテ好方法ナリト思惟ス近頃ボーベルヨイテルハ
之レニ反シテ數及無意味ノ單綴音ヲ以テ實驗スルコトハ實際

卷之三

形狀ヨリ云へハ甚タ平坦ニシテ總テ排列順ニ關セサル記憶能
力ノ數價ハ排列順ニ關スル諸記憶實驗ヨリ得タル數價ヨリモ
大ナリ殊ニ聽視覺トモ排列順ニ關セサル數列ノ記憶及ヒ無意
味ノ單綴音ノ記憶ニ於テ著シキモノアルヲ見師範科ノ生徒ノ
如キハ視覺ヨリ來ル記憶ニ於テハ大概最高點一、〇〇ニ達ス
以上ノ事實ヲ綜合スレハ排列順ニ關セサル記憶實驗問題ノ如
キ寛大ナル條件ニ於テハ六箇ヨリ成立セル問題ハ餘リニ平易
ニ過クルヲ以テ寧ロ六箇以上即チロブヂーン、ネツチャイエフ
ボルトン、ケムヂース等ノ爲セルカ如キ九乃至十二ヨリ成立

文

排列順ニ記憶スル場合ニハ未知ノ語ノ記憶ニ應用セラル、モノニシテ即チ外國語ノ教授法ト密接ナル關係ヲ有ス（第五表參照）

平全一		平全高		平全尋		平全尋		平全尋		平全尋		平全尋		年級	
		二	一	六	五	四	三	二	一						
均年		均女年	均年	均年	均年	均年	均年	均年							
女男	師範	男	女男	女男	女男	女男	女男	女男							
九九九	ノ	九九九	九九九	九九九	九九八	八八八	八八七	七七六	五五五	観					
七八六		三一六	二〇三	三五一	一四八	〇〇一	〇一六	二七四	八六九						
〇八二	部	九八四	五八三	三三一	七五一	八三六	三七九	四五一	二八七	覺					
九九九		七六七	七七七	七八七	七八六	五六六	五五五	五五四	三三三	聽					
一一一		三八七	一二〇	九二七	二四〇	七四二	六八〇	一六二	八九七						
七三一		四三〇	〇五二	九五四	四三六	六六四	一七〇	二七四	三六四	覺					
一一一		一一一	一一一	一一一	一一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	年齡
六六六		四四四	三三三	二二二	一一一	〇九〇	九九九	八八八	七七七						
二二一		二五〇	二三〇	一一一	二二三	〇九〇	二一三	〇〇〇	一二〇						
二五七		九〇八	二三八	七七七	九五三	〇二八	五七三	八八八	七五八	齡					

第四表		排列順ニ關スル數列ノ記憶	
學校成績		聽覺	視覺
學校成績		聽覺	視覺
尋常小學校ニ 於ケル總平均		男 甲 六五一 丙 六六二一	八一三 七二二
		女 乙 六六五 丙 七四五	七一〇 五六七
但シ甲乙丙ハ教員ノ評價點ノ平均ニシテ小學ニ於ケル男女各組ノ平均		甲 六七九 乙 七六〇	七五五 七〇二
等ノ研究ト一致ス		表ハス	
學校成績ト記憶トノ關係ニ於テハボルトン、ウエルテ、ロブ			
ン等ノ研究ト一致ス			
第三項 無意味ハ單綴音ヲ以テ調査シタル記憶			

ノ記憶價ニ相當シコレヲ尋常一年ニ比フレハ其ノ二分ノ一、
視覺的記憶ノ三分ノ一ニ當ル特別級ハ尋常四年ノ平均年齡ニ
相當スレトモ視覺的記憶ハ甚タシク劣リ聽覺ニ於テノミ略對
應スコレヲ要スルニ總テ尋常一年ヨリ各年毎ニ記憶發育ノ曲
線ハ甚タ規則正シク理論上ヨリ得タル對數曲線ニ近似シツ、
發達スルヲ認メ調査ノ結果ハ甚タ良好ナリト云フヘシ

第六表 排列順ニ關スル無意味單音列記憶
学校成績 聽覺 視覺 學校成績

排列順ニ關セサル單綴音列ノ實驗成績ハ第七表ニ示スカ如ク
テナルヘシ

餘リ良好ナラサルカ爲唯表ヲ舉クルニ止ム
第七表 排列順ニ關セサル無意味綴音列記憶

キモノト見做シテ可ナリ(第八表参照)
第八表 排列順ニ關セナル單語列記憶
小學部

問題中ノ名語ハ已ニ述ヘタルナ如ク有意味ナハキ名語林互
關連シテ論理的意味ヲ有セサルヲ以テ全ク無意味ノ單綴音ニ
以テシタルト同様ニ國語又ハ漢字ノ如キ字ノ記憶ニ適用ス
キモノト見做シテ可ナリ(第八表參照)

五年級小學部學生

平全一 均年 女男 範	平全高 均年 女男 部	平全高 均年 女男 九九八 〇二八 一一二 八八八 三三三 五三七	平全母 均年 女男 八八八 九三七 五三七 七八七 五八三 七〇三	平全卒 均年 女男 八七八 一八四 四七三 七八七 三六〇 六〇八	平全卒 均年 女男 七六七 二七七 〇六七 六六三 三六〇 六〇八	平全卒 均年 女男 六六六 六八三 六六三 一九七 九〇九 七〇一	平全卒 均年 女男 七七七 四四一 一九七 九一六 八九五 六九三	平全卒 均年 女男 四四四 一二一 九一六 五一七 五六五 六九三	平全卒 均年 女男 三二三 二八三 五一七 部 三一七	說 覺 覺 聽
六六六 二二一 一五七	六六六 二二一 一五七	四四四 二五〇 九〇八	三三三 二三〇 一三八	二二二 一一一 七七七	二二二 二二三 九五三	一一一 〇九〇 〇二八	九九九 二一三 五七三	八八八 〇〇〇 五七八	七七七 一二〇 七八八	年齡

11

平全補	平全特	平全四	平全三	平全二	平全一		平全高	平全高	平全尋	平全尋	平全尋	平全尋
助	別						二	一	六	五	四	三
均	級	均	級	均	年	均	年	均	年	均	年	均
女男	女男	女男	女男	女男	女男	師	女男	女男	女男	女男	女男	女男
語	排						範					
ヲ	列											
以	ニ											
テ	關											
調	セ											
查	サ											
シ	ハル											
タ	有											
ハ	意											
記	味											
憶	ノ											
單	、											
二二二	五四五	九八九	九九九	九八九	八八八		九九九	八八八	八八八	七七六	七七七	八七八
六六六	〇二九	〇九〇	二〇四	二八六	六五七		一二〇	五六五	四二六	四一八	五四六	一九五
六六六	七四九	九九八	〇〇一	四五三	二四二		六二九	七五二	五五四	七七〇	六九六	六六七
九九九	〇〇〇	九九〇	八八九	七七七	六六六		四四四	三三三	二二二	一一一	〇九〇	九九九
四八〇	三一五	八五一	九七一	一〇一	二二一		二五〇	二三〇	一一一	二二三	〇九〇	二一三
二〇〇	〇〇〇	四〇七	六五七	三七八	一五七		九〇八	一三八	七七七	九五三	〇二八	五七三

學校ニ於ケル兒童成績下記憶價トノ關係、以左ノ如シ

學校成績 聽覺的
聽覺的

學校成績 聽覺的 看 觀覺的 學校成績 聽覺的 看 觀覺的

ノ如ク興味アルモノニシテ甲ナル優良成績ヲ有スル生徒ハ從テ其ノ記憶價値モ亦大ニシテ實際教育上又好参考タリ尙特別級ニ於ケル記憶價ヲコレト相當年齢ナル尋常四年ニ比較スレハ其ノ二分ノ一強ニ過キス補助級ニ至リテモ亦コレニ相當スル尋常三年生ノ記憶ニ比スレハ僅ニ其ノ三分ノ一ナル所ヲ以テ見レハ劣等及低能兒ノ記憶能力ヲ推知スルヲ得ヘシ

第五項 拼列順三關六川有意人單認詭體

此ノ實驗ハ文章ヲ以テ直接ニ記憶ヲ實驗シタルト同様ノ意味ヲ有スルカ故ニ實際教育上最モ参考トナルヘキ實驗方法ナリ

卷一百一十一

年級	一年	二年	三年	四年	五年	六年	七	八	九	十
平全學	平全學	平全學	平全學	平全學	平全學	平全學	平全學	平全學	平全學	平全學
均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男
六七六六六六四四四四	六六六六六六七七七七	三三三三三四〇七	戰	學						
七〇二四五四〇三六一	二〇四九二〇一六〇	四〇三六一六〇	七〇	一六〇						
七七七六六六三〇一	八〇八一〇一五	五六一〇七六〇	四四四六二九〇五〇	建	覺					
二四〇八一〇一五	八一〇一五	四一〇七六〇	六二九〇五〇							
八〇九一〇一五	九一〇一五	五六一〇七六〇								
一〇九〇九九九	九九九	八八八	七七七	年						
〇九〇二一三	二一三	〇〇〇	一三〇							
〇二八五七三	五七三	八八八	七二八	動						

男女ノ記憶価値ヲ比較スルニ前項ニ於ケルト同様ニ兩者共甚
タ不規則ニシテ其ノ曲線ハ互ニ相綻絆上下シ殆ト著名ナル差
異ヲ示スニ難シ即チ男女ノ優劣ハ殆ト無ク共ニ同價ノ記憶ヲ
有スルモノト認メテ可ナリ次ニ視聽的記憶ヲ比較スルニスヘ
テ尋常小學ニ於テハ聽覺的記憶價優秀ナシモ其ノ以後ニ於

卷之三

此ノ記憶ノ曲線ハ實ニ理想的ニシテ後ニ述フ

補助級ト尋常三年ト比較スルニ視覺ニ於テハ約三分ノ一ノ記憶價ヲ有シ聽覺ニ於テハ二分ノ一ノ價値ヲ有スルニ過キス而シテ補助級ニ於ケル男女聽覺ノ比較ヨリシテ生シ來ル一種ノ奇現象ハ實ハ其ノ人數ノ少キ結果ニ依ルモノト認ム又特別級ニ於テハ視覺ハ只約〇、一一〇ノ差異ヲ有シ聽覺ニ於テハ約〇、二弱ノ差アルヲ認ム即チ特別級トコレニ相當年齢ノ尋常四年トバ大約〇、一五ノ差アルニ過キサルナリ

第十一裝
排列二間六川有意ノ語反詭仙
學校威就 論說覽 要義成

尋常小學校ニ 於ケル總平均	男	甲 一七四 乙 六六二 丙 五八〇	六三〇
	女	甲 一六九 乙 六三一 丙 五三三	五七一
	女	甲 一六九 乙 六三一 丙 五三三	五七一
	女	甲 一六九 乙 六三一 丙 五三三	五七一
此ノ比較ハ記憶ノ種類ノ如何ニ關セス視覺及聽覺ヨリ來ル記憶ノ總平均ヲ以テ互ニ比較研究シ以テ教育學上何レノ記憶力 必要ナルヤ否ヲ調査シタルモノナリ			

此ノ比較ハ記憶ノ種類ノ如何ニ關セス視覺及聽覺ヨリ來ル記憶ノ總平均ヲ以テ互ニ比較研究シ以テ教育學上何レノ記憶力必要ナルヤ否ヤ調査シタルモノナリ

第六項 感覺及視覺ヨリ來ル記憶の總比較

此ノ比較ハ記憶ノ種類ノ如何ニ關セス視覺及聽覺ヨリ來ル記憶ノ總平均ヲ以テ互ニ比較研究シ以テ教育學上何レノ記憶力必要ナルヤ否ヤ調査シタルモノナリ

一一

第十三表 聽視的記憶ノ總比較

九
寧

要スルニ ポワイトヒードハ「人ニヨリ聽覺ヨリ來ル記憶ト視覺ヨリ來ル記憶ノ得意、不得意アリ而シテ視覺的記憶ニ得意ナルモノハ十三名中十名アリ聽覺的記憶ニ得意ナルモノハ僅

ト説ケトモ今回ノ調査ニ於テカ、ル種ノ調査ヲ爲スニ至ラサ
リシハ深ク遺憾トスル所ナリ尙此ノ種ノ研究ニ關シテハデク
ローリー及デジイヤンノ論文ヲ参考スヘシ
後述スヘキ對數曲線ノ關係ニ於テハ始メノ尋常一年ヨリ三年
マテハ多少相違スルモ一般ニ於テ視聽曲線ハ理論的對數曲線

第七項 記憶總平均ニ就テ
記憶總平均ヲ求ムル爲メニハ聽覺及視覺ヨリ來ル兩記憶、排

ハ約〇、一乃至〇、〇〇五ノ間隔ヲ以テ殆ト相平行シテ年齢六年、ニマテハ理論的對數曲線ノ軌範ニ從ヒテ發育シソレヨリ兩者ノ曲線ハ全然相近接スルニ至ル。

男女ニヨル比較ヲ見ルニ視覺ヨリ來ルモノハ尋常五年即チ一年、三ニ於テ女子ハ男子ヨリ優秀ニシテ十二年、十三年ニ於テ男子ト交叉シ十四年マテ劣等トナリ次テ又再ヒ二十年マテハ優秀ノ結果ヲ得即チ春情發生期ニ於ケル影響以外ハ男子ヨリ良記憶ヲ有スルコトヲ認ム而シテ聽覺ニ於テモ同様ノ結果ヲ生スルト雖モ女子十二年、一即チ尋常六年ニ於テ甚シク急激ノ記憶發育ヲ爲シ十三、四年ニ至リテ全ク男子ヨリ劣リ遂ニ十九年ニ至ルマテ男子ノ下ニアルコトヲ知ル是レ即チ男子ノ記憶ハ春情發生期ノ影響ヲ受クルコト甚タ少ク殊ニ聽覺ニ於テハ春情發生期以後ニ於テモ女子ヨリ優秀ナルコトヲ知ルヘシ要スルニ兩者ノ實驗記憶曲線ノ性質ハ前述セルカ如ク理論的對數曲線ノ軌範ニ從テ年齡ト共ニ發育スルモノナリト

第十四表 記憶總平均

年齢即チ年級別ニヨリテ平均シタリ男女ニ就テ得タル結果ハ
第十四表ヲ見ルヘシ

小學

右ノ如ク男子ハ尋常一年ニリ高等一年マテノ常ニ女子ノ下位ニアルモ高等二年即チ十四^年一ニ於テ女線ノ上ニ出テソレヨリハ男女兩曲線ハ相互ニ上下シテ殆ド其ノ區別ヲ見ヌ要スルニ男線ハ十一^年三三三即チ尋常五年ニ於テ一時下落シ尋常六年ナル十二^年二ニ至リテ急ニ上升シ十三^年〇八ニ於テ男女相合シ

ト比較スルニ尋常二、三、四、五ノ四箇年級ノ少不一致ヲ除クノ外ハ殆ト能ク是ト一致セル發育ヲ爲スモノタルヲ認ム要スルニ今回ノ調査結果ノ事實ニ依リテ兒童カ記憶能力ノ發育ハ七年ヨリ二十年ニ至ル間ハ大略理論上ヨリ得タル一定ノ對數曲線ノ形狀ニヨリテ發達セルモノナルコトヲ決定セント欲ス

而シテ此ノ對數曲線ナルモノハ必スX軸ト交叉又ハ合致スルモノニシテ特ニ

$y = 1 - 2,2e^{-0,215x}$

ナル曲線ニ依レハ約四、五年ノ所ニ於テX軸ト交叉ス換言スレハ四年某箇月ニ於テ記憶ハリナル意味ヲ有スコレ事實ト甚

春情發生期ニハ男子ハ餘リ大ナル影響ヲ受ケサルカ如ク男子ノ記憶ノ發育ハ女子ニ比シテ頗ル順當ナリト云フヲ得ヘシ女子ニ於テハ尋常二年ノ八年〇八ヨリ尋常四年級ノ十年マテハ曲線ハ著ク上昇シ次テ十一年一七ニ至リテ再ヒ急激ナル發育ヲ爲シ十三年三及十四年ニ於テ極メテ急ニ落下シ十六年ニ以後ハ男子記憶曲線ト殆ト同シ高サニ發育ス即チ女子ハ八年ヨリ十二年ニ至ル間ハ異常ノ發達ヲ爲シ十二年ニ又急ナル發育ヲ爲シ次テ十三、十四年ノ春情發生期ニ至リテ甚タシク其ノ影響ヲ受クルモノ、如シ春情發生ニ關スル調査ハネックチャイエフ及ロブヂーレント其ノ説ヲ同フス男女ノ各總平均ヲ合シテ平均シコレヲ兩性總平均ト稱シコレニツキテ理論上ヨリ得タル對數曲線

春情發生)アルカ爲メスノ如ク多大ノ相違不一致ヲ見ルナリ

九、十年ニ於ル不一致ノ原因ニツイテハ是ヲ探究スルモ少シ

モ其ノ原因ヲ見出サ、ルハ甚タ遺憾トスル所ナルキ十三、十

四年ノ落下ノ原因カ正ニ春情發生期タル事ハ疑ヲ容ル、餘地

ナシト信ス女子ノ曲線ハBカニ、六〇カ〇、二五八ナルカ故ニ

急ニ屈曲スル曲線ノ性質ヲ現ス即チ女子ハ男子ニ比シテ發育

カ急ナル(早熟ト云ハシカ)事ヲ現ハス尙ホ男子平均線ニ於

テ女子ニ見タル如ク一箇年後ニテ十一年ノ所ニ陥落ノ所アリ

ルモ其ノ度甚シカラス前者ノ原因ハ之モ亦全ク不明ナリ(偶

然ニモ此ノ學級生徒カ比較的劣等ナリシカ)

次ニ總平均ニ於テハ第三式ト不一致ノ所多キカ故ニコレカ精

細ノ調査ヲナシタル所、曲線ノ陥落ハ正ニ女子ノ陥落ト一致

シ居ルヲ見レハ全ク女子曲線ノ爲メニ斯ク影響セラレタルモ

ノト信スナホ男子ノ十一年ノ所ノ下落カ原因シテ益々不合ノ

點ヲ多クシタルナリ

要スルニ女子ハ多クノ生理的又ハ未知ノ障害ニヨリ記憶價曲

線ハ甚タ不整形ナルモ男子ノ記憶曲線ハ甚タヨク對數曲線ノ

軌範ニヨリテ發育スルモノナリ

以上ノ實驗ノ結果ヲ綜合シ主ナル事項ヲ左ニ舉ケテ以テ結論

トス

(一) 記憶ハ年齢ト共ニ發育ス

(二) 記憶ノ發育ハ大略對數曲線ニ一致ス其ノ一致セナル簡

- (三) 實驗問題ノ正誤數ヲ計算スルニハ必ス排列順ノ正誤數
ヲモ計算スヘシ排列順ヲ顧慮セサル實驗ハ價值少シ
態ヲ現ス(多ク對數曲線ニ近似ス)
- (四) 實驗問題ノ正誤數ヲ計算スルニハ必ス排列順ノ正誤數
ヲモ計算スヘシ排列順ヲ顧慮セサル實驗ハ價值少シ
念聯合ノ共働ヲ有スル記憶實驗結果ノ方正規ノ發育狀
態ヲ現ス
- (五) 男女ノ記憶價ノ差ハ年齡ニヨリテ甚タシキ優劣アリ即
チ尋常小學時代ニハ女子優秀ニシテ春情發生期(高等
小學時代)ニハ男子優秀、成年期ニ近ヅクニ從ヒ男女
記憶價ハ殆ント優劣ナシ小中學時代ヲ通スル男女總平
均ニハ女子僅ニ優等ナルモ決シテ大差ナシ
- (六) 男子ノ記憶發育ハ女子ヨリモ規則正シク(理論的曲線
ニ)發育スルモノナリ女子ノ記憶發育ハ男子ヨリモ急
ニシテ且ツ不整形ナリ
- (七) 女子ハ無意ノ綴字記憶中外國語記憶ハ視覺ヨリ來ル記
憶ニ於テ男子ヨリモ少シク優秀ナリ
- (八) 排列順ニ無關係ナル有意味ノ語列ニ關スル記憶ハ視聽
兩覺トモ殆ント同一ノ發育經過ヲ取ル男女子ノ能力差
違モ亦タ少シト雖女子ハ概シテ優等ナリ
- (九) 排列順ニ關スル語列(文章ノ記憶)ニ就キテハ小學時代
ノ生徒ニ在リテハ聽覺的記憶ハ視覺的記憶ヨリモ優秀
ニシテ中學時代ニアリテハ大差ナシ
- (十) 視覺ヨリ來ル記憶ト聽覺ヨリ來ル記憶トニ就キテ見ル
ニ前者ノ方優等ナルヲ知ル視覺的記憶ノ曲線ハ整形ヲ

爲シ聽覺的記憶ハ稍ヤ不整形ヲ爲ス其ノ變動ハ前述ノ
如ク十二、十三、十四歲ノ所最モ甚タシ男女子ノ差モ
視覺ノ方少シ視聽兩曲線トモ對數曲線ノ形狀ニ略一致
ス

(十一) 良キ學校成績ヲ有スル生徒ハ亦良キ記憶ヲ有ス
低能兒ヨリ成ル補助級(小學)ノ生徒ノ記憶ハ之レニ相
當スル年齡ナル尋常三年級ノ生徒ヨリ總テノ場合ニ於
テ大凡三分ノ一ノ能力ヲ有ス特別級生徒ハ相當年齡ナ
ル十年ノ普通生徒ヨリモハルカニ劣等ナリ

第二報告 記憶ノ誤ニ就テ

記憶能力發育ハ研究ハ續

(大正四年一月二十日調査結了)

第一報告ニ於テ提出シタル問題ノ正答數ニ依リ記憶力ノ發育
ヲ調査シタル結果ヲ報告セリ今回ノ報告ハ之レニ反對シテ同
調査中ニ於テ生徒カ爲シタル誤答ニ就テ調査シタルモノニシ
テ從ツテ前報告トハ全ク反對ノ意味ニ於テ其結果ヲ現シタル
モノナリ

本報告ハ前報告ト同様年齡七歲ヨリ二十歲ニ至ル迄ノ福岡女
子師範學校附屬小學(尋常及高等)ノ生徒並ニ同市大名高等小
學校ニ於ケル男生徒、福岡師範學校並ニ女子師範學校生徒總

數一千〇二十六人ヲ調査シタル結果ニシテ前報告ト同一ノ生
徒並ニ同年同月日時間及同問題(即チ同一ノ調査法)ヲ以テ調
査シタルモノナリ而シテ前報告ニハ其問題ヨリ得タル正答數
ヲ調査シ今回ノ報告ハ其問題ヨリ生シタル誤答數及誤答人種
類ニ就テ報告セルモノナリ

索ヨリ本誤答調査ハ甚タ複雜ニシテ問題ノ異ナルニ從ヒ悉ク
其種類ヲ異ニシ到底一定ノ學理ヲ發見スルコト不可能ナルカ
故ニ小官ハ福岡女子師範學校附屬小學男女生徒並ニ福岡市大
名高等小學男子生徒ノミニ就テ調査シ師範學校ノ如キハ異リ
タル問題ナルカ故ニ之ヲ省略シタリ

尋常小學ト高等小學ニ於ケル問題ハ可及的同一問題ヲ選定シ
タリト雖モ各校及各級ヲ通シテ調査シタルハ左ノ問題ニ遇キ
ス

聽覺ニ對スル問題ハ男女トモ

排列順ニ關セサルモノ

「ヲ、ヘ、ス、ロ、テ、セ」

「ト、シ、オド、サ、ク、ハタ、カ、オ、

キナ、ク、シナ、シ、」

「ク、ジ、ス、ヨ、ナ、デ」

「ト、シ、オド、サ、ク、ハタ、カ、オ、

キナ、ク、シナ、シ、」

親覺ニ關スル問題ハ男女トモ

排列順ニ關セサルモノ

「カ、ヘ、ト、ク、ヒ、ミ、」

「タ、ニ、ス、ヌ、メ、ダイ、ク、キ、モ、

「イ、オ、タ、ク、ア、ウ、エ、ル、コ、メ、

「ウ、フ、ミ、オ、ク、ツ、リ、」

「イ、メ、ト、ケ、イ、」

但シ本調査ニ於テハ一人ニ就キ各種記憶調査ニ對シ各々四問
題ヲ提出シタルモノナルニ關セス學校ノ異ナルコト及び試驗
者ノ異ナル爲メタトヒ實驗心理學上ノ意味ニ於テハ同一價值
ナルモノト認ムレトモ本調査ニ對シテ甚シキ不便ヲ感スル爲
メニ唯前記四問題ニ於ル誤ツニ就テノミ報告セントス調査ノ

排列順ニ關スル問題ノ結果ヨリ視聽覺ノ誤リヲ比較スル事左ノ如シ

	男	女	計
一誤數總和〇・二	一局上〇・二六	一局上〇・四六	一
二最長誤多字間題八 三音韻	二局上	二局上	二

、コトヲ意味シ排列順ニ關スル綴リ音及ヒ單語列ニ於テノミ
此倒錯ヲ有スルモノナリ例ヘハイネタクワエルコメゴハシ
ノ問題ニ於テイネタウエルクワ等ノ如ククワトウエルトカ位
置ニ於テ相轉倒スルモノナリ今其表ヲ掲クレハ左ノ如シ
第十五表 位 置 倒 錯

ハウオカサカナ及ヒサカナヤオ誤リミヅカウミ及ヒカラニ誤リオヨグカサカナニ間違フ男女ニ於テハ餘リ多クノ差々見る要スルニ比観ハ只観念場合ノ一例耳

此説ノ只點急聯合可見功ル誤ナルテ以テ比較的上級ノ生徒即チ長シタル生徒ニ於テ見ル處ノ誤リナリ

第二十表 避味似句

	子	女	和	數
記憶誤りノ 數	0.88	0.88	0.88	0.88
記憶誤りノ 率	0.28	0.28	0.28	0.28
標準	0.88	0.88	0.88	0.88
題列	0.88	0.88	0.88	0.88
記憶	0.88	0.88	0.88	0.88
和數	0.88	0.88	0.88	0.88
観察	0.88	0.88	0.88	0.88
總	0.88	0.88	0.88	0.88

七歳ニ至ル迄ノ各級ノ各種類及ヒ平均總和
掲ク

キ問題ニアラサルヲ以テ第一項ニ於テハ只共通ナル一問題ニ就テノミ記憶ノ誤リノ種類ノ例トシテ舉ケタルモ此第二項ニ於テハ各近似シタル生徒一名四箇宛ノ問題ヲ同價値ト見ナシ其表ハレタル誤リヲ綴リ音及單語列ニ於テハ次ノ各種類ニ分解シ各其總和ヲ一つノ級ニ於テ夫レ夫レ求メ各級ノ人數ヲ以

加之記憶ノ種類ニ於テ排列順ニ關セサル四箇宛ノ數列、綴音（無意味ノ）、單語列、排列順ニ關スル四箇宛ノ數列、綴音、單語列（連組詞ヲ缺ク文字）ノ六種アリ故ニ一人ニツキ二十四箇宛ノ記憶問題ヲ與フルカ故ニ總平均ニ於テハ
 $\Sigma m_1 p_1 + \Sigma m_2 p_2 + \Sigma m_3 p_3 + \Sigma m_4 p_4 + \Sigma m_5 p_5$ × 100 ナリ但シ今回ノ調査ニ於テハ數列ニ關スル誤數ヲ除去セルカ故ニ六ニテ除スヘキヲ四ニテ除セリ此ノ記憶誤ノ程度實驗ニハ各校ニ於テ異レル問題ナリト雖モ其誤答數ヲ悉ク合算セルナリ故ニ小學校及兩師範學校ノ全體ニ於ケル調査中ノ誤數ヲ悉ク包含セルナリ
次ニ誤記憶ノ種類ヲ前項ニ於ケルト同様左ノ如ク分析ス
甲 級音ニ於テハ (1) 片假名ノ五十音ノ同行同列ニ誤ル似音似句 (2) 書速ヒ視速ヒ聽速ヒ (3) 位置ノ倒錯 (4) 忘却字數 (5) 平均總和數
乙 單語列ニ於テハ (1) 似音似句、視速ヒ、聽速ヒ、書速ヒ (2) 意味似句ノ誤リ (3) 反對ノ意味ニ於ケル誤リ忘却字數 (5) 平均總和數ニ分類ス
今各級ノ平均誤數ヲ其發育年齡ニ從ヒ七、一七歲ヨリ一〇〇、一

平均
師三男 一、五、七、二、一、六、〇 〇、〇、一、〇、二、一、九、三、九、一、七、〇、三、〇、一、〇、八、三、二
師四女 一、六、七、二、一、六、〇 〇、〇、一、〇、二、一、九、三、九、一、七、〇、三、一、一、二、三、一
平全女 一、六、七、二、一、六、〇 〇、〇、一、〇、二、一、九、三、九、一、七、〇、三、一、一、二、三、一
平均 全女 一、六、七、二、一、六、〇 〇、〇、一、〇、二、一、九、三、九、一、七、〇、三、一、一、二、三、一
平均 平均 全女 一、六、七、二、一、六、〇 〇、〇、一、〇、二、一、九、三、九、一、七、〇、三、一、一、二、三、一
即チ第二十一表ニ於テハ排列順ニ關セサル綴リ音ノ誤リノ各平均（一級
十二表ニ於テハ排列順ニ關スル綴リ音ノ誤リノ各平均（一級
ヲ一人ト見ナシタル平均誤數）第二十三表ニ於テハ排列順ニ
關セサル單列語第二十四表ニ於テハ排列順ニ關スル單語列ノ
誤リノ平均ヲ以テ尋常小學高等小學及ヒ師範學校各級ニ從ヒ
其數ヲ比較シタルモノナリ

(甲) 綴音記憶實驗ニ於ケル誤數

(1) 先ツ片假名ニ於ケル同行同列内ニ於テ生スル平均誤數ヲ平
均年齢ニ依ツテ比較スルニ排列順ニ關セサル綴リ音ニ於テハ
尋常及ヒ高等小學ニ於テノミ誤リヲ生シ師範以上ニ於テハ殆
ト其誤ソヲ見出ス事ナシ排列順ニ關スル綴音ノ誤リニ於テハ
其理由ハ説明スル事能ハスト雖モ智能ノ發育セル高等小學及
師範科生徒ニ於テ比較的多クノ誤リヲ發見セリ然レトモ全體
ノ曲線ハ概シテ一直線且ツX軸ニ極メテ近接スルヲ以テ智能
發育ノ實驗ニ對シテハ殆ト意味ヲ爲ササルモノナリ排列順ニ
關セサル實驗ニ於テ視及ヒ聽覺的記憶實驗ノ結果ニ於テハ概シ
ニ其差殆ト僅少ナリ排列順ニ關スル實驗ノ結果ニ於テハ概シ
テ視覺的記憶ノ方誤リ少シ次ニ男女ノ比較ニ於テハ視覺的記
憶ニ於テ尋常三年ヲ除クノ外曲線ニ於テ殆ト直線ヲ爲スカ故ニ聽
少ク尋常三年ヲ除クノ外曲線ニ於テハ排列順ニ關セサル實驗ハ其誤リ甚タ

(甲) 緓音記憶實驗ニ於ケル誤數

(1) 先ツ片假名ニ於ケル同行同列内ニ於テ生スル平均誤數ヲ平均年齢ニ依ツテ比較スルニ排列順ニ關セサル緓リ音ニ於テハ尋常及ヒ高等小學ニ於テノミ誤リヲ生シ師範以上ニ於テハ殆ト其誤ソヲ見出ス事ナシ排列順ニ關スル緓音ノ誤リニ於テハ其理由ハ説明スル事能ハスト雖モ智能ノ發育セル高等小學及師範科生徒ニ於テ比較的多クノ誤リヲ發見セリ然レトモ全體ノ曲線ハ概シテ一直線且ツX軸ニ極メテ近接スルヲ以テ智能發育ノ實驗ニ對シテハ殆ト意味ヲ爲ササルモノナリ排列順ニ關セサル實驗ニ於テ視及ヒ聽覺的記憶實驗ノ結果ニ於テハ概シニ其差殆ト僅少ナリ排列順ニ關スル實驗ノ結果ニ於テハ概シテ視覺的記憶ノ方誤リ少シ次ニ男女ノ比較ニ於テハ視覺的記憶ニ於テ尋常三年ヲ除クノ外曲線ニ於テ殆ト直線ヲ爲スカ故ニ聽少ク尋常三年ヲ除クノ外曲線ニ於テ殆ト直線ヲ爲スカ故ニ聽

及ヒ視覺的男女ノ記憶誤數ノ比較ハ殆ト區別シ難シ排列順ニ關スル綴リ音誤リニ於テハ尋常二年五年ニ於テ僅カノ誤數ヲ發見スルノ外他ハ殆トX軸ニ附著シ一直線ヲ爲ス其數ニ於テ甚タ僅少ナルヲ以テ此場合ニ於テモ亦聽視的及ヒ男女ノ比較ヲ表ス事能ハス

(3)位置ノ倒錯ハ誤數ニ於テ多少尋常小學ニ發見シタルモ其數甚タ少ク且ツ師範學校ニ於テハ其數著シク減少シ殆トX軸ニ接觸ス概シテ視覺ノ方聽覺的記憶誤數ヨリモ少シ男女ノ差ハ其數甚タ少キヲ以テ明記スル事能ハス

(4)忘却セル字數ニ於テハ排列順ニ關スト關セサルトノ兩實驗ニ於テ共ニ著シキ誤數ヲ有シ年齡ノ進ムニ從ヒテ其誤數ヲ減シ師範科ニ於テハ其數殆トX軸ニ接觸ス換言スレハ忘却字數ノ曲線ハ殆ト一種ノ對數曲線ニ一致スルノ形狀ヲ有シ且ツ全體ノ誤數總和曲線(對數曲線ノ形狀ニ近似ス)ニ其形狀ヲ與フルカ如キ大影響ヲ與フ換言スレハ記憶誤數ノ調査ニ於テ最モ重大視スヘキモノニシテ忘却字數ヲ以テ畫キタル曲線カ對數曲線ノ形狀ヲ爲スカ故ニ誤數總和曲線カ對數曲線ノ形狀ヲ有ス

排列順ニ關セサル綴音記憶ノ誤リ中視覺ノ誤數ハ聽覺的記憶ノ誤數ヨリモ少數ナリ男女ノ比較ニ於テハ女子ノ方概シテ誤數多シ排列順ニ關スル綴音ノ誤リニ於テ(外國語ノ記憶ニ應用セラルヘキ)ハ視覺ノ記憶誤數ハ聽覺的記憶ニ比シテ著シク小數ニシテ視覺的記憶中尋常二年三年ニ於テハ女子ノ方少シク誤數多シ聽覺的記憶誤數ハ尋常四年ト高等二年ニ於テ少シク男子ヨリ多數ナルモ全體ニ於テハ男子ヨリ誤數少シ即チ

(5)忘却字數、排列順ニ關セサル單語列ノ實驗ニ於テハ多少一定ノ曲線ヲ形成スルト雖モ概シテ不規則ナル形狀ヲ有ス

(6)誤數總和ヲ見ルニ排列順ニ關セサル單語列ノ曲線ニ於テハ其曲線形狀殆ト全ク忘却字數ノ曲線形狀ニ一致ス換言スレハ

憶ノ誤リニシテ問題ト全ク反對ノ語ヲ以テ答フル事ナリ此誤數ハ又極メテ少ク唯排列順ニ關スル單語列ノ實驗ニ於テ師範ノ一二年ニノミ甚タ少シク現出セリ

(4)位置ノ倒錯、此誤リハ無論排列順ニ關スル單語列實驗ニ生スル誤リナリ其數ニ於テハ又比較的小數ニシテ年齡ニ關係シ増減セス殆ト七歲ヨリ二十歲マテハX軸ニ平行シテ走ルノミ故ニ記憶發育ニ關スル曲線ニハ殆ト影響ヲ與ヘス

(5)忘却字數、排列順ニ關セサル單語列ノ實驗ニ於テハ多少一定ノ曲線ヲ形成スルト雖モ概シテ不規則ナル形狀ヲ有ス

(6)誤數總和ヲ見ルニ排列順ニ關セサル單語列ノ曲線ニ於テハ其曲線形狀殆ト全ク忘却字數ノ曲線形狀ニ一致ス換言スレハ

年 級	視					
	似句音 意 味	似句 意 味	反對 全 行	倒錯 忘 却 字 數	和 數	年 級
全尋	平全尋	一男	七六	七六	七六	一
三男	平全尋	二男	七六	七六	七六	二
六五	六五	六五	七六	七六	七六	三
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	四
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	五
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	六
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	七
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	八
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	九
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	十
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	十一
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	十二
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	十三
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	十四
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	十五
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	十六
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	十七
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	十八
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	十九
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	二十
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	二十一
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	二十二
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	二十三
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	二十四
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	二十五
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	二十六
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	二十七
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	二十八
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	二十九
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	三十
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	三十一
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	三十二
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	三十三
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	三十四
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	三十五
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	三十六
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	三十七
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	三十八
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	三十九
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	四十
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	四十一
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	四十二
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	四十三
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	四十四
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	四十五
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	四十六
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	四十七
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	四十八
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	四十九
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	五十
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	五十一
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	五十二
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	五十三
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	五十四
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	五十五
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	五十六
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	五十七
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	五十八
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	五十九
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	六十
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	六十一
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	六十二
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	六十三
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	六十四
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	六十五
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	六十六
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	六十七
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	六十八
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	六十九
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	七十
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	七十一
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	七十二
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	七十三
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	七十四
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	七十五
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	七十六
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	七十七
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	七十八
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	七十九
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	八十
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	八十一
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	八十二
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	八十三
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	八十四
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	八十五
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	八十六
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	八十七
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	八十八
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	八十九
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	九十
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	九十一
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	九十二
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	九十三
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	九十四
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	九十五
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	九十六
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	九十七
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	九十八
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	九十九
一、五	一、五	一、五	七六	七六	七六	一百

(丙)記憶總誤數ノ概要論(第二十五表參照)

前記排列順ニ關スル單語列ノ結果及ヒ同シク

年 級	聽					

(6) 忘却字數此忘却字總和曲線ニ於テハ其形狀最早著シク對數曲線ニ近似ス年齢ヲ重ヌルニ從ヒ漸次低落ス而シテ其形狀ハ總和曲線ニ殆ト相一致ス即チ記憶誤數曲線ハ忘却字數ノ曲線形狀ヲ作ルモノニシテ換言スレハ記憶ノ誤リハ忘却字ヲ以テ主トスルモノナリ

視聽覺差異ニ於テハ正答數ヨリ得タル曲線ニ比シテ其差異著シカラスト雖モ概シテ視覺ハ聽覺ヨリモ誤數少シ

年齢ノ增加ト共ニ視聽覺ノ誤數甚タ近接スルヲ認ム即チ正答數ヨリ得タル結果ト相一致ス

男女ノ差異ハ著シカラスト雖モ尋常一年ヨリ五年頃マテハ概シテ視聽記憶トモ男子ノ方稍誤數少シ

(7) 記憶總誤數總和曲線、此曲線ノ形狀ハ殆ト忘却字數曲線ト相一致スレトモ唯異ナル點ハ視聽覺的記憶曲線カ少シク明白ニ異ナル事ナリ換言スレハ視聽的誤記憶總和數ハ尋常一年ヨリ尋常四年マテハ視覺ノ方聽覺ヨリ誤數少ク高等二年ヨリ師範ニ至ルマテハ聽視曲線ハ殆ト相一致ス女子ハ概シテ尋常四年マテハ聽視覺共誤數男子ヨリモ多シ然レトモ尋常五年ヨリ師範ニ至ルマテハ殊ニ視覺ニ於テ男子ヨリモ少シク誤數少シ高等一年ニ於テ全般誤數多キヲ認ム、之レ或ハ春情發動期ニ關係スルモノナランカ此全體ノ曲線形狀ハ對數曲線ニ近似ス

正答數ヨリ得タル曲

憶能力甚々高ク一・一・一九年ニ於テ甚々低ク一一・一七年ニ於テ再ヒ高ク十三・十四歳ニ於テ復ヒ春情發動ニ於ケル低落ヲ少ナル低落ヲナス其曲線經過ハ以上ノ如シ然ルニ誤數總和ヨリ得タル曲線ニ於テモ又同様ノ高低ヲ取ルモノニシテ尋常三年即チ九・二五年ニ於テ誤數少ク即チ正答總數曲線ト全ク相反對ノ(正負)關係ヲナス曲線ナルカ故ニ誤數ノ少キモノハ正答數多キモノナリ一一・二九即チ尋常五年ニ於テ曲線ハ著シク低落シ即チ正答曲線ノ尋常六年ノ上升ト一致シ一三・二一年ニ於テ誤答曲線ハ上升ス一七・一三年即チ師範ノ二年ニ於テハ曲線ハ少シク上升スルコト及ヒ師範學校ノ第三年即チ一八・九六歳ニ於テ極メテ僅ノ低落ヲナス事ハ悉ク正答總和曲線ノ經過ニ一致スルセノナリ但シ常ニ正負ノ關係ヲ有ス

今此ノ曲線ヲ數學上ヨリ見ルニ亦タ一種ノ對數曲線ニシテ正答數ヨリ得タル曲線ハ $Y = 1 - 2,2e^{-0,215X}$ ナル對數曲線ニ略一致スルモノナレハ誤答數ヨリ得タル實驗曲線ト相比較スルニ元ヨリ正答數ト誤答數トヲ加フレハ $n - n$ ナルカ故ニ1ナラナルヘカラス今正答數ヨリ得タル式ニ於テ其記憶價 γ トシ誤答數ヨリ得タル式ニ於テハ $Y' + Y = 1 = B e^{-c x}$ ニシテ $Y = 1 - Y$ ナリ故ニ $Y = B e^{-c x}$ ナル式ヲ得ヘキ理ナルモ前述ノ如ク誤リノ種類ニ於テハ一誤記憶カニ三種ニモ分析セラル、カ故ニ其ノ決シテ $Y + Y = 1 = A e^{-c x}$ ナル式ハ得ル事不可能ナリ今リ大ナル數ナリ從テ $Y = B e^{-c x}$ ナル式ハ得ル事不可能ナリ今リ